

授業科目名	英語科教育法Ⅱ	教員名	早瀬 沙織	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	選択
					保育士	選択
科目番号	SID324	配当年次	3年後期		こども音楽療育士	
授業形態	演習				情報処理士	
単位数	2単位					
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	<p>外国語活動・外国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された外国語活動・外国語科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>(1) 外国語活動・外国語科の目標及び内容 学習指導要領に示された外国語活動・外国語科の目標や内容を理解する。</p> <p>(2) 外国語活動・外国語科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>					
到達目標	<p>(1) 外国語活動・外国語科の目標及び内容</p> <p>1) 学習指導要領における外国語活動・外国語科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</p> <p>3) 外国語活動・外国語科の学習評価の考え方を理解している。</p> <p>4) 外国語活動・外国語科の背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</p> <p>(2) 外国語活動・外国語科の指導方法と授業設計</p> <p>1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</p> <p>2) 外国語活動・外国語科に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</p> <p>3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</p> <p>4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	<p>小学校の外国語活動・外国語科を指導する上で必要な基礎的な知識と実践力を身に付けることをねらいとする。目標・指導・評価が一体となった単元目標の設定と評価計画について理解し設定することを通して、授業の計画力及び実践力の向上を目指す。さらに実践に必要な指導技術（ICT利用含む）を身に付ける。</p> <p>アクティブラーニングの種別：グループディスカッション、グループワーク、指導案作成、模擬授業、振り返り</p>					
履修条件・注意事項	本科目を受講する前に、「英語科教育法Ⅰ」を受講することが望ましい。					
授業計画	<p>第1回： オリエンテーション 英語科教育法Ⅱの授業のねらい、授業計画について理解し、模擬授業について見通しを持つ。</p> <p>第2回： 単元目標 単元目標について理解を深め、グループで選んだ単元の最後のゴールイメージを持った上で目標を考え、設定する。（目標(1)-1), 2), (2)-1)）</p> <p>第3回： 指導と評価の一体化 外国語活動と外国語科における指導と評価について理解する。（目標(1)-1), 2), 3)）</p> <p>第4回： 教育実習の振り返り 実施・参観した外国語活動・外国語科の授業について振り返る。（目標(1)-1), 2), (2)-1)）</p> <p>第5回： 評価規準 外国語活動・評価規準について理解を深め、グループで選んだ単元に応じて評価規準を</p>					

	<p>考え、設定する。(目標(1)-3))</p> <p>第6回: 指導案作成① 単元計画を作成する。(目標(1)-1), 2), (2)-1), 2), 3))</p> <p>第7回: 指導案作成② 単元計画の中で、どの1時間を実施するか考え、本時の指導過程を作成する。(目標(1)-1), 2), (2)-1), 2), 3))</p> <p>第8回: ICT活用 外国語活動・外国語科でのICTの活用方法について理解を深める。(目標(2)-2))</p> <p>第9回: 模擬授業準備① 模擬授業に向けて、指導の流れや言語活動を具体的に考える。(目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2), 3))</p> <p>第10回: 模擬授業準備② 模擬授業に向けて、教材・教具の準備、グループ内での役割分担、使用する具体的な表現の確認を行う。(目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2), 3))</p> <p>第11回: 模擬授業① グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4))</p> <p>第12回: 模擬授業② グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4))</p> <p>第13回: 模擬授業③ グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4))</p> <p>第14回: 模擬授業④ グループごとに模擬授業を実施し、振り返りを行う。(目標(2)-4))</p> <p>第15回: 模擬授業のまとめ 模擬授業全体を振り返る。(目標(2)-4))</p> <p>期末試験(試験期間中に実施する)(目標(1)-1), 2), 3), 4), (2)-1), 2))</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前事後に、授業で配布した資料や参考書や参考資料に目を通し、授業内容について自分なりに整理し直し、理解を深めること。</p>
学生に対する評価	<p>定期試験30%、模擬授業40%、授業中の活動・発表30%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において口頭で行う。 ・レポート・答案等にコメントを記載し返却する。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・『小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 外国語活動・外国語編』(ISBN-13: 978-4304051685)
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 外国語・外国語活動』 ・文部科学省『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』
担当者からのメッセージ	<p>毎回の復習を大切にして、小学校の外国語活動・外国語を指導できる知識と技能を身に付けて行きましょう。</p>
オフィスアワー	<p>授業前後の時間</p>
備考	